

わたしたちの地域のマップをつくる

「写真」と「映像」と「ことば」と「地図」～大夕張の場合

東海大学 文化社会学部

水島久光

自己紹介

水島久光 1961年うまれ

文学部(文化社会学部)広報メディア学科
教授

慶應義塾大学経済学部卒

広告会社、インターネット情報企業を経て、
39歳から東京大学大学院で「情報学」を
学ぶ。

「メディア産業と倫理」「エンタテインメントメ
ディア論」「番組分析論」ほか

市民メディア、地域映像アーカイブなどの
研究で北海道から沖縄まで全国を回る。



手と足と眼と耳

地域と映像アーカイブをめぐる実践と研究

原田 健一・水島 久光

【編著】

学文社

これまで訪ねてきたアーカイブ・プロジェクト

北海道夕張市ほか空知地域：夕張石炭博物館所蔵映像等、旧産炭地域資料の保全と活用

宮城県仙台市沿岸地域：311オモイデアーカイブの活動など震災被災地における実践

新潟県南魚沼市、十日町など※：新潟大地域映像アーカイブセンターとの連携

神奈川県横浜市※：テレビ神奈川、横浜市民放送局との連携による資料群の統合化

神奈川県平塚市：市立博物館所蔵写真および地元紙所有映像のアーカイブ化

神奈川県伊勢原市：市の「平和事業」とその成果の学校・市民団体を通じた共有

長野県上田市※：長野大学「まちなかキャンパス」の市民アーカイブ活動との連携

長野県阿智村ほか南信地域：県域放送局満蒙開拓団関連番組と一次資料群との関係調査

兵庫県神戸市※：神戸大学と神戸映画資料館との連携事業に関する成果の共有

福岡県福岡市：福岡市総合図書館における地域放送局制作番組寄託事業に関する調査

鹿児島県鹿屋市・垂水市：大隅半島の戦跡に関する調査と地元コミュニティとの共有

沖縄県那覇市ほか：沖縄県公文書館所蔵の沖縄戦映像資料の分析と地元への還元

このほか・・・小樽市総合博物館、けせんぬまアーカイブ、須賀川市立図書館、渋谷・原宿定点観測、国立映画アーカイブ（荻野茂二コレクション）、メモリーバンクプロジェクト（京都・崇仁東九条）、伊豆、広島、長崎、阿蘇、水俣・・・



夕張と、その歴史

- 2006年6月20日、北海道夕張市の財政破綻の第一報
- ・632億円の巨大な負債(実質的に解消すべき赤字額353億円、返済期間18年)
- ・翌2007年3月財政再建団体へ(現:財政再生団体)

2006年6月20日、北海道夕張市の財政破綻



「二回のリセットボタン」
 反復性：リニアな発展モデルに
 回収されない時間の問題
 「ナショナルとローカル」
 人為時事性（デリダ）
 ナショナルを構築する情報
 供給源としての地域

地図は昭和6年の夕張

これまで夕張で、何をしてきたのか

2008年 石炭博物館に保存されていたVHSテープのデジタル保存作業を始める(第一期)

2009年3月 ゆうばり国際ファンタスティック映画祭で上映会「ゆうばりアーカイブ」開催(以降2017年まで毎年映画祭の特別企画として実施)

2010年9月～2月「炭都夕張の記憶×映像アーカイブ実践」

2011年9月、10月「連続公開研究会 新鉱事故30年と映像に残る夕張の情景」

2013年5月～2015年 「大夕張プロジェクト」

2014年～Google earthを用いた協働環境構築

2015年～市民会館映像資料室所蔵VHS保存作業(第二期)

2015年～「放送番組」活用に関する積極的働きかけ

2018年 「大夕張プロジェクト」再開



←2010年の実践より

2009年、10年「ゆうばりアーカイブ」⇒

2009年 ゆうばり開基120年:「三井八郎右衛門視察(1916)」
「夕張町防空演習(1932)」ほか

2010年 昭和30年代の夕張:「市民が見た夕張風景」(1961年)
「第一回黒ダイヤ祭り」(1964)ほか

2011年 映像アーカイブ実践報告:「夕張は、いま...～消え続けるまち、生き続けるもの～」(2011)ほか

2012年 夕張市が撮った夕張:「炭都夕張」(1953)、「石炭の街ゆうばり」(1965)「飛翔夕張」(1983)

2013年 蘇る9.5mmと1930年代のゆうばり:「天龍橋工事」(1933)「睦会婦人清水沢清遊」(1936)ほか

2014年 懐かしの大夕張 「遥かなる故郷の思い出」(1997)ほか

2015年 みんなでつくるアーカイブ ゲスト 今野勉

2016年 内なる炭鉱～炭鉱から観光へ

2017年 鉄道と町の姿の移り変わり

2018年 祭りと賑わいに注目 「ゆうばり新発見、大発見！」(1993)



参考) 石炭政策と夕張の歴史

政策	年	生産目標		映像	夕張	観光化
第一次	1962～	5,500万t	炭鉱業崩壊が地域にもたらす損失防止⇒スクラップ&ビルド、離職者求職手帳精度			
第二次	1965～	5,500万t	国内エネルギー資源としての確保⇒電力用炭価安定、借入金利子補給制度	65石炭の街ゆうばり		
第三次	1967～	5,000万t	経営基盤の回復と需要確保⇒元利補給金、各種助成措置			67十か年総合計画（70年期首立案）
第四次	1969～	明示せず	安定した出炭供給体制、再建困難は縮小⇒再建交付金、安定補充金、特別閉山交付金		69北炭合理化計画	
第五次	1972～	2,000万t	急激な縮小に伴う混乱回避、労使一体努力⇒肩代わり、融資比率引上、国内炭引受け		73三菱大夕張鉱閉山	
第六次	1975～	現状維持	総合エネルギー政策・国内炭の維持⇒海外炭開発、ガス化・液化、特別会計		75新鉱操業開始	79中田鉄治市長就任 80石炭の歴史村オープン
第七次	1981～	2,000万t	供給の安定性と経済性の調和⇒合理化臨時措置法延長、電力用炭販売制度廃止	83地底の葬列 飛翔夕張	81新鉱事故	81地域振興対策に関する要望事項
第八次	1986～	1,000万t	競争条件改善は見込めない、縮小⇒企業の自己努力、離職者対策、閉山制度見直し		90夕張全鉱閉山	87空知産炭地域の振興方策等についての要望 88「映画祭」計画
新しい石炭政策	1992～	国内炭生産の段階的縮小	経営の多角化、地域雇用対策、海外炭の安定供給⇒新分野のための助成、地域振興の中核的事業の設立支援			90第一回「映画祭」、 91観光客のピーク、
その後						02松下興産撤退、03中田市長退任、死去

ベースとなった青木コレクション



「躍進夕張」(北炭制作; 1938)



吉井氏寄贈映像(1932-37)



三井八郎右衛門視察(1916)



夕張防空演習(1932)

◎青木隆夫氏

夕張地域史研究資料調査室室長・元夕張石炭博物館館長、元法政大学特任教授

◎1980年代～破綻までのVHSテープ約500本 ⇒413タイトル

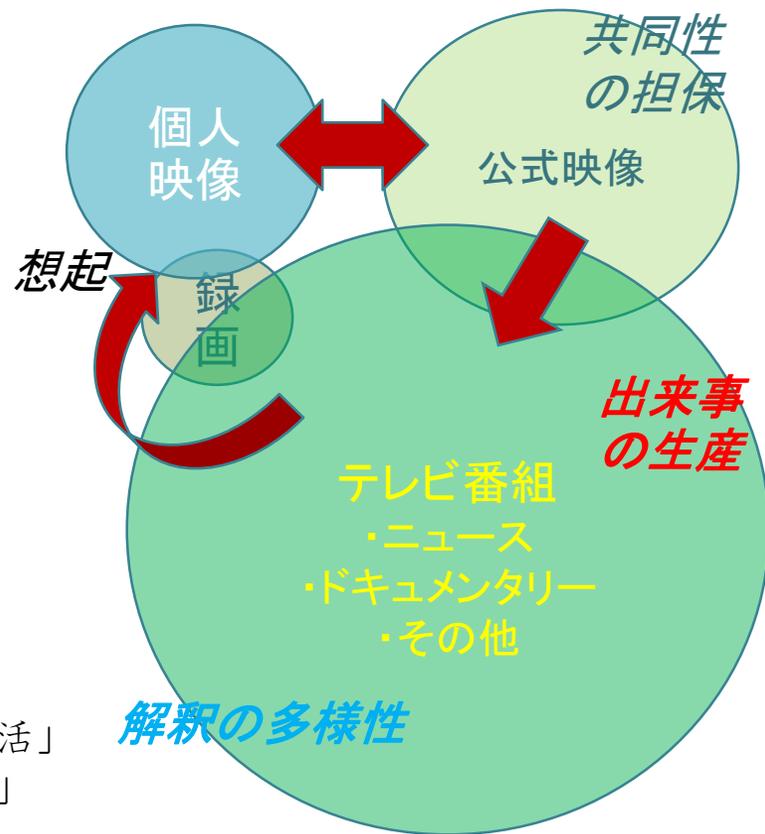
2/3 (256) がテレビ番組の録画、残りがフィルムからのダビング、最も古いもの—1916年三井八郎右衛門視察記録映像

◎「炭鉱」に関する“当事者”の観察の記録

まなざしの攻防

「誰が」「何のために」—被写体となった出来事・風景と制作主体との関係を読み取る

「内」と「外」
「国策」と「国民生活」
「発展」と「豊かさ」
「効率」と「安全」
「都市」と「コミュニティ」



三井八郎右衛門視察(1916) 夕張防空演習(1932)

大夕張プロジェクト（2013年5月～）



夕張市の中心街から東に山を越えた地域を人々は「大夕張」と呼んできた。

1929年に操業開始した三菱大夕張炭鉱を中心に栄え、最盛期には2万人超の人々が暮らした。しかし1973年の閉山、そして1991年のシューパロダム建設の決定とともに、徐々に人口は流出。1996～98年にかけて全住民は移住。

移住から14年後の2011年秋、町の中心部を通っていた国道452号線は、拡張されるダム湖畔にそって付け替えられ、2013年8月末をもって、一般の立ち入りは禁止。そして2014年の春、シューパロダムの完成にともなう試験湛水が開始。

いよいよ「消える街」—その視覚資料記録を整理するプロジェクトを、2013年5月から開始。

大夕張の視覚資料(映像・写真)

写真資料

- (1)アルバム写真 ゆうばり写真サークル撮影 67点
- (2)「絵ハガキ」 27点
- (3)大夕張写真展(2006) 235点
 - ①シューパロ湖 5点 ②街並み・商店街 20点 ③街並み・炭住 39点 ④学校 25点 ⑤鉱員・炭鉱 4点 ⑥三菱バス 5点 ⑦山神祭 15点 ⑧子供たち 15点 ⑨施設 15点 ⑩戦時中 4点 ⑪大夕張の行事 21点 ⑫鉄道・駅 17点 ⑬南大夕張・南部 9点 ⑭堀田牛乳店 9点 ⑮夕張岳 8点 ⑯労働運動 24点
- (4)石炭博物館所蔵「絵ハガキ」大夕張関係 69点
- (5)安藤文雄「夕張を見つめた半世紀」大夕張関係 25点
- (6)「夕張市勢要覧」写真集 5点 (7)博物館所蔵写真 60点
- (8)大夕張関係写真アルバム 48点
- (9)「ふるさと思い出写真集」大夕張関係 16点 (10)三弦橋 7点
- (11)鹿島小学校から大夕張 4点
- (12)大夕張炭鉱写真帖 9点 (13)大夕張空撮写真 2点

(14)「鹿島小写真集」

- ①鹿島小アルバム1 37点 ②鹿島小アルバム2 62点 ③鹿島小アルバム3 74点 ④鹿島小アルバム4 24点 ⑤鹿島小アルバム5 10点 ⑥鹿島小アルバム6・7 21点 ⑦鹿島小アルバム8 39点 ⑧鹿島小アルバム9 23点

(15)「さようなら大夕張+カット集」 24点

(16)「写真集 大夕張の記憶 夕張岳の麓、湖底に沈むもう一つの夕張」読売新聞北海道支社

地図資料

- ①昭和27年「都市計画図(大夕張) ②大夕張戸別案内図S43 ③夕張市戸別案内図S45
- ④大夕張地図S38 ⑤大夕張地図H9 ⑥大夕張鉱業所坑外平面図(青焼)
- ⑦ゼンリン大夕張地図1981年 ⑧ゼンリン大夕張地図1984年 ⑨ゼンリン大夕張地図1987年 ⑩ゼンリン大夕張地図1989年 ⑪ゼンリン大夕張地図1994年

大夕張の視覚資料(映像・写真)

映像(動画)記録(個人・団体)

- (1)「我が故郷・大夕張よ永遠なれ」1982年 丸山伸也
- (2)「1995年の大夕張」1995年 佐藤次男
- (3)「遥かなる思い出の故郷(大夕張)」スタジオ式 1997年
- (4)「大夕張二股ダム」北海道開発局
- (5)鹿島小学校8mm映像

テレビ番組

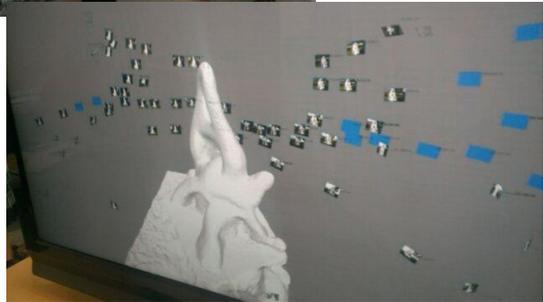
- (5)HTB myステーション「ダムに沈むマチ・大夕張シリーズ」HTB 1997年
- (6)北海道スペシャル「地図から消える故郷—大夕張閉村日記」NHK 1997年
- (7)北海道中ひざくりげ「私の好きな風景・大夕張の旅」NHK 1997年
- (8)新日本探訪「夕張・ミヨさんの夏」NHK 1991年
- (9)「廃校の季節 —夕張—」北海道の窓 NHK札幌1983(昭和58)
- (10)「消えた小学校 夕張報告」(南部小)HTB 1990年
- (11)「思い出の鉄路」②大夕張鉄道 NHK/BS 1999年
- (12)「大夕張鉄道廃止関係ニュース」1987年
- (13)ドキュメント人間列島「消えた11人—夕張 ヤマの男たちの3年—」NHK 1984年
- (14)日本ところどころ「母と子—小児マヒ」NHK 1962年

地域の姿が変わるとき～産業・開発・災害の視点

狩野川台風60年の記録



企画展「水のかたりべ」
(静岡・伊豆長岡「狩野川資料館」)2018



東海大学阿蘇キャンパスの記憶



水島ゼミ+農学部応用動物学科で構想中



- その地域にとって、大切な「歴史」がある。
- 「道」と「目の高さ」の風景
- 別の地域の「記憶」と出会う仕掛け

ご清聴ありがとうございました。